

持続可能な社会への 移行に向けた トランジション・ マネジメント

ヨーロッパと日本の経験から

Transition Management for Sustainable Society
European Experience and Japanese Context

2月13日（土）13:30—18:45（開場 13:00）

山上会館 http://www.u-tokyo.ac.jp/campusmap/cam01_00_02_j.html
〒113-8654 東京都文京区本郷 7-3-1 TEL 03-3818-3008

英語・日本語の同時通訳あり

主催 東京大学サステナビリティ学連携研究機構（IR3S）
共催 持続可能性確保に向けたガバナンス改革と政策プロセスマネジメントプロジェクト
東京大学政策ビジョン研究センター

経済成長優先の社会から持続可能性を視野に入れた社会への転換が望まれる今日、社会の要請変化に対応した制度面、組織面等様々なレベルの移行管理が求められています。トランジション・マネジメントは、ガバナンスの実験、自己組織化の促進、学習の循環を生み出すことなどによって、ボトムアップの発展を戦略的に利用し、持続可能な社会への移行を目指す実践指向の理論です。トランジション・マネジメントの手法や戦略は、制度的・文化的な状況によって異なることが考えられます。本会議ではトランジション・マネジメントのヨーロッパにおける概念と実践についての理解を深めた上で、日本における実践の可能性について議論を行います。

13:30～13:35 開会の辞
城山英明（東京大学）

13:35～15:20 第1セッション
トランジション・マネジメントの理論

- ・キー・ノートスピーカー：ジョン・グリーン（アムステルダム大学）「再帰的ガバナンスの観点から（仮）」
- ・ダーク・ローバック（エラスムス大学）「トランジション・マネジメントとトランジション・アリーナ」
- ・コメンテーター：佐藤仁（東京大学）

15:35～17:20 第2セッション
トランジション・マネジメントの
枠組みと事例
エネルギー分野における考察

- ・エイドリアン・スミス（サセックス大学）「エネルギーガバナンスの移行と政治」
- ・ジャン・ピーター・ヴォス（ベルリン工大）「確立したガバナンス・レジームにおける新しい政策デザイン」
- ・コメンテーター：鎗目雅（東京大学）

17:35～18:40 第3セッション
トランジション・マネジメントにおける
リフレーミングの意義

- ・デヴィッド・ローズ（アムステルダム大）「イノベーションとリフレーミング（仮）」
- ・コメンテーター：平川秀幸（大阪大学）

18:40～18:45 閉会の辞
森田朗（東京大学）

参加お申し込み・お問い合わせ：

氏名・所属（勤務先・学校名）を明記のうえメールでお申し込みください

「持続可能な社会への移行に向けたトランジション・マネジメント」会議事務局 坂本
(ir3s0213@gmail.com, TEL: 03-5841-8489)

※申し込みは先着順。定員100人に達し次第終了します。